草津市教育委員会だより
# コンパス
COMPASS
第 51 号
令和7年12月
発行

## 「アートフェスタくさつ」を開催しました！

### 【草津市役所が一日限りのアートミュージアムに】

秋の恒例行事となった、こどもや大人が気軽にアートに親しめるイベント「アートフェスタくさつ」を１０月１８日（土）に開催しました。不安定な天気の中でも多くの方にご参加いただき、こどもも大人もアートに夢中になった一日でした！

### 【わくわく体験ひろば】

県内で活動する団体や大学生、美術館などの様々な出展者の方々のご協力のもと、日本舞踊やいけばな、茶道、尺八などの伝統文化や、アクセサリー作り、音楽体験、工作など、気軽にできる多彩なワークショップを実施しました。

真剣なこどもたちの姿や、親子で一緒に楽しむ姿がたくさん見られ、アート体験を通して皆様に笑顔になっていただけました。

### 【クリエイターズマーケット】

県内で活躍する作家による、おしゃれなアクセサリーや小物づくりが楽しめるワークショップでは、こどもも大人も一緒になってアートの魅力を感じていただけました。

滋賀県産の食材を使用したおいしいフード・ドリンクのお店がたくさん並び、雨の中でも賑わっていました。

［担当］生涯学習課　TEL 077(561)2428

# 国スポ開催！
# 小中学生・高校生の応援で
# 会場が盛り上がる！！

わたSHIGA輝く
国スポ・障スポ 2025

## 【こどもたちの声援が選手の力に】

草津市で開催された「わたSHIGA輝く国スポ２０２５」では、市内の小中学校の児童・生徒が学校観戦で会場を訪れ、選手たちに熱い声援を送りました。こどもたちの元気な声援が会場を大いに盛り上げてくれました。こどもたちは、草津市オリジナルの応援グッズを手に、全力で応援し、その姿はとても印象的でした。

さらに、市内の小中学校・高等学校の児童・生徒の皆さんが熱い応援メッセージや競技にちなんだイラストをのぼり旗に描き、完成した手づくり応援のぼり旗が、会場を華やかに彩りました。

こどもたちによる学校観戦での応援や手づくり応援のぼり旗は、選手の背中を力強く押し、選手躍動の大きな原動力となりました。

また、市内の高等学校の生徒たちは、競技補助員として試合運営を支え、大会成功の一翼を担う存在となりました。

ご協力いただきました皆さん、本当にありがとうございました。

▲各競技会場　学校観戦の様子

▲試合運営を支える高校生たち

▲手作り応援のぼり旗

▲草津市オリジナル応援グッズ

［担当］国スポ・障スポ推進室　TEL 077(561)1510

# 国スポ・障スポが閉幕しました！
# ～皆さんの声援が選手の力に～

わたSHIGA輝く
国スポ・障スポ 2025

## 【天皇杯、皇后杯ともに滋賀県選手団が１位の快挙達成！】

９月から各競技会場でたくさんの熱戦が繰り広げられた第７９回国民スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ」は、１０月８日（水）の総合閉会式をもち閉幕しました。

滋賀県選手団は、男女総合成績・女子総合成績ともに１位となり、天皇杯、皇后杯を獲得するという快挙を達成しました。

たくさんのご来場、ご声援ありがとうございました！

また、ご協力いただいた皆さん、支えていただき、ありがとうございました。

## 【国内トップレベルの競技！】

草津市では、５競技６種目の正式競技が開催され、国内トップレベルの選手が全国から集まり、競技が行われました。草津市ゆかりの選手も活躍し、飛込競技の板橋美波選手、伊藤洸輝選手が入賞されました。

また、滋賀県チームは、バレーボール競技（成年女子）で２位という成績を残されました。

▲飛込競技　板橋美波　選手

▲飛込競技　伊藤洸輝　選手

▲バレーボール競技（成年女子）
滋賀県チームの皆さん

## 【わたSHIGA輝く障スポについて】

第２４回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ」が、１０月２５日（土）と２６日（日）に、草津市立総合体育館でバレーボール競技（精神）、インフロニア草津アクアティクスセンターで水泳競技（身体・知的）が開催されました。

滋賀県チーム（選手）は、バレーボール競技は１回戦敗退となりましたが、水泳競技では２４個の金メダル、７個の銀メダル、７個の銅メダル、合計３８個のメダルを獲得されました。

［担当］国スポ・障スポ推進室　TEL 077(561)6896

# 「第9回草津キッズシネマ塾」を開催しました！

## 【志津学区で撮影を行いました！】

草津キッズシネマ塾では、草津のこどもたちが、“草津”をテーマにした短編映画の制作体験を通して、郷土の歴史や文化、魅力を学ぶことで「ふるさと草津への愛着心」を深めるとともに、草津の魅力を発信しています。

９回目となる今年は、志津学区に焦点をあて、「歴史と緑のあるまち志津」をタイトルとした映画を撮影し、豊かな自然と歴史文化が息づく志津学区を回りながら歴史を学び、里山では薪割りなどを体験しました。参加した小学生は、プロの映画スタッフに学びながら監督、助監督、カメラ、音声、俳優などの役割を分担して撮影を行うことができ、貴重な体験となりました。

こどもたちに協力いただいたアンケートでは、「演技をするのは緊張したけど、初めてのことがいっぱいで面白かった」「志津のことをよく知れて良かった」「来年もやりたい」などの感想をいただきました。

完成した映画は、２月に上映会を行うとともに、図書館や生涯学習課で貸し出しを行います。

### 【上映会のお知らせ】

日時：2026年2月28日（土）
13:30～15:30（開場13:00）
場所：草津アミカホール
入場：無料（当日先着順）
定員：300名

［担当］生涯学習課　TEL 077(561)2428

# これまで図書館を利用する機会がなかった人も図書館へ

## 【あおぞら図書館】

10月12日（日）に、あおぞら図書館を開催しました。テーマは「としょかんレストラン」です。サイコロをふって出た目に書いてある食べ物の本を借りる「サイコロde絵本バイキング」や「食」がテーマの本について語り合うビブリオトークなど、楽しい企画や、キッチンカーパレードさんやくさねっこカフェさんが来てにぎわいました。

サイコロde絵本バイキング

あおぞらおはなし

ビブリオトーク

くさねっこカフェ

キッチンカーパレード

## 【第１回「図書館DAY」開催！】

読書のまち推進計画の策定に伴い、これまで図書館にあまり馴染みのなかった方々にも広く興味を持って図書館や本に親しんでもらえるように、様々な切り口でのイベントや講演会を実施し、本と出合う機会を提供しています。11月3日（月・祝）に開催した第１回「図書館DAY」では、本との出合いを楽しむ多くの人でにぎわいました。第２回については12月20日（土）に開催予定です。

「似合う色と印象の言葉で、自分をもっと好きになる講演会」

書庫ツアー

ビブリオバトル

野外おはなし

おはなし会
（草津おはなし研究会）

黒板アート
（光泉高校文芸漫画部）

絵本の交換会
（生涯学習課）

キッチンカー湖の家

［担当］図書館　TEL 077(565)1818

# 秋季テーマ展
# 「たびに誘う-いざ、お伊勢さんへ-」を開催しました

草津宿は東海道と中山道が分岐するとともに京・大坂から伊勢路への入り口でもあり、交通の要衝として多くの旅人が行きかう地域でした。そこで今回、「たびに誘う-いざ、お伊勢さんへ- 」と題し、 10月4日（土）から11月30日（日）までの会期で、江戸時代後期に流行した旅とお伊勢まいりに注目した展示を実施しました。

展示資料は冒頭から「可愛い子には旅をさせよ」のことわざが記される「東海道名所記」（草津市蔵）や伊勢まいりの道中が双六になった「参宮上京道中一覧双六」（草津市蔵）といった旅・伊勢まいりに関する資料34点です。

また、連動展示として、史跡草津宿本陣では「旅にかかるお金―宿場町の視点から―」と題し、本陣に残る宿泊記録や宿場町を描いた浮世絵など、当時の旅の様子がわかる資料から宿泊費や食事代などの旅の費用について宿場町の視点から紹介しました。

多くの来館者にご覧いただき、ありがとうございました。

## 【会場の様子】

▲展示の様子

［担当］草津宿街道交流館　TEL 077(567)0030

ホームページURL　https://www.city.kusatsu.shiga.jp/kusatsujuku/koryukan/R7aki-oisesanhe.html

# 教育委員就任の抱負

草津市教育委員会
教育委員
あびこ　ともみ
**我孫子 智美**

この度、草津市教育委員として二期目を拝命いたしました我孫子です。一期目の任期を通じて、学校や地域の皆さんと関わる中で、教育の持つ力とその大切さを改めて実感しました。こどもたちのまっすぐなまなざし、先生方や地域の方々の熱意に触れ、「草津市全体で教育を育てていこう」という温かく力強い想いを感じています。

草津市では、ICTを活用したハイブリッド型教育や「ESDくさつ」など、未来を見据えた挑戦的な取り組みが進められてきました。引き続き、私もその一端を担えることに誇りと責任を感じています。これからの時代に必要なのは、知識だけでなく「自分らしく生きる力」を育てる教育です。多様な価値観の中で、自分の考えを持ち、判断し、行動できる「主体性」がますます求められています。

そのためには、こどもたちが安心して自分を表現できる「心理的安全性」の高い環境が欠かせません。失敗を恐れずに挑戦できること、違う意見にも耳を傾けられること、自分の存在が認められていると感じられること――そうした空気が、こどもたちの自己肯定感と自己効力感を育み、こどもたちの可能性を広げる前向きな一歩につながります。

「こどもまんなか社会」の理念のもと、家庭・学校・地域・行政が手を取り合い、こどもたちの安心できる環境と多様な体験の機会を整えていくことが、未来を切り拓く力につながると信じています。二期目も、こどもたちが自分らしく歩んでいける教育を、微力ながら誠実に支えてまいります。よろしくお願い申し上げます。

［担当］教育総務課　TEL 077(561)2425

ホームページURL　https://www.city.kusatsu.shiga.jp/shisei/gyoseijoho/kyoikuiinkaiiin/kyoikuiinshokai.html

# 教育委員就任の抱負

草津市教育委員会
教育委員
こまむら　あきこ
**駒村　晃子**

この度、草津市教育委員に就任いたしました、駒村晃子でございます。

愛着深い草津の地で、教育行政の一端を担わせていただくこととなり、改めてその職責の重みに身の引き締まる思いでおります。

私は草津市で生まれ育ち、草津第二小学校、草津中学校で学びました。私の娘と息子も、私と同じ学び舎で育ちました。今回、保護者枠という形で教育委員の任を拝しましたことから、一市民、そして一人の親としての実感を大切にした活動こそが、私を育ててくれたこの草津市への恩返しになると考えております。

大学卒業以来20数年、一貫して教育サービス業に携わってまいりました。現在は保育部門の運営責任者として、乳幼児から始まる学びの環境づくりに日々向き合っております。私教育と公教育という違いこそあれ、こどもたちの未来を支える教育業界全体が、今、大きな転換期、すなわち過渡期を迎えていることを肌で感じています。

従来の一方的な教えから脱却し、こどもたちが能動的に探求し、多様な仲間と共に学びを深める協働的な学びが主流となりつつあります。

学びの場も、学校にとどまらず、地域、オンライン、そしてリカレント教育といった多種多様な形へと広がっています。しかしその半面、地域社会の中で自然と育まれてきた、人との繋がりや豊かな体験といった「失われつつある学びの場」にも目を向ける必要性を痛感しています。

先行き不透明で予測困難な現代社会（VUCAの時代）を生きる次世代のこどもたちが、変化を恐れず、自らの未来を切り拓く「未来の主人公」となるために、私たち大人は豊富な知識と深い愛情を持って、こどもたちの尽きることのない好奇心と探求心を育み続けなければなりません。それは学校、家庭、そして地域が一丸となって推進するべきことであり、教育に携わる私の使命だと深く認識しています。

微力ではございますが、これまでの経験と保護者としての視点を最大限に活かし、草津市の未来、こどもたちの未来のために、教育委員の職責を全力で果たす所存です。市民の皆様、ならびに関係各位の温かいご指導と、ご協力、ご支援を心よりお願い申し上げます。

［担当］教育総務課　TEL 077(561)2425

ホームページURL　https://www.city.kusatsu.shiga.jp/shisei/gyoseijoho/kyoikuiinkaiiin/kyoikuiinshokai.html